

対象校No.

注4

学校コード F114310104909

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 専門職大学の設置

注1

認可

注2

ビューティ&ウェルネス専門職大学
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人ミスパリア学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務課
職名・氏名	カチョウ ヤマダケンタロウ 課長・山田健太郎
電話番号 (夜間)	045-930-9119
e-mail	k.yamada@b-w.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

ビューティ&ウェルネス学部

ビューティ&ウェルネス学科	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ミスパリ学園

(2) 大学名

ビューティ&ウェルネス専門職大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒224-0012

神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シモムラ アケミ) 下村 朱美 (平成20年4月)	—	
学長	(ムロフシ キミコ) 室伏 きみ子 (令和5年4月)	—	
学部長	(ホンダ ゼンイチロウ) 本田 善一郎 (令和5年4月)	(ヤマダ シンジ) 山田 眞二 (令和7年4月)	任期満了のため 令和7年4月1日(7)
学科長等	(ホンダ ゼンイチロウ) 本田 善一郎 (令和5年4月)	—	

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科 ビューティ&ウェルネス学士（専門職）	保健衛生学領域（看護学領域及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	234人	2年次 0人 3年次 6人 4年次 0人	948人	-	令和7年度から、入学定員を194人（△40人）収容定員を788人（△160人）に変更（7）

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 - (-) [-]	人 234 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 234 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 194 (6) [-]	人 - (-) [-]	-	0.57倍	一倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	173 (-) [-]	(-) [-]	150 (-) [-]	(-) [-]	184 (20) [6]	(-) [-]	-			
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	172 (-) [-]	(-) [-]	147 (-) [-]	(-) [-]	182 (20) [6]	(-) [-]	-			
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	167 (-) [-]	(-) [-]	138 (-) [-]	(-) [-]	179 (18) [4]	(-) [-]	-			
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	149 (-) [-]	(-) [-]	130 (-) [-]	(-) [-]	127 (18) [4]	(-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	0.63	-	0.55	-	0.65	-	-			

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	149	-	130	-	127	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	129	-	123	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	134	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	149	-	259	-	384	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	129 人	20 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	20 人	- 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(8人) 家庭の事情(3人)、除籍(1人)、その他(一身上の都合 6人)
令和6年度	239 人	20 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	13 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、海外留学(1人)、就職(1人)、 学生個人の心身に関する事情(3人)、家庭の事情(1人)、その他(一身上の都合 4人)
			令和6年度	7 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、就職(3人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和7年度	384 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		40 人		40 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{20}{149} = \boxed{13.42} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{20}{259} = \boxed{7.72} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{384} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学

(1) -① 授業科目表

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外(助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1					1
	キャリアデザインⅠ	1前	2				1					
	キャリアデザインⅡ	2後	2				1					
	コミュニケーション論	1後	2				1					
	コミュニケーション演習	1後	2				1					
	英語Ⅰ	1後	2			1		1	1			
	英語Ⅱ	2前	2			1		1	1			
	英語Ⅲ	2後	2		2	1						
	中国語入門	2後	2		2							1
	心理学	1前	2					1				
	比較芸術論	1後	2	2		1						
	身体表現論	1後	2	2		1						
	伝統文化演習	1後	2	2								2
	ジェンダーとダイバーシティ	1後	2	2		1						
	生命科学	1前	2			1						1
	化学	1前	2			1						
	データサイエンス入門	1前	2									1
	経済学	1後	2			1						
	国際関係論	2前	2	2								1
法学概論	2前	2	2								1	
現代社会論	2前	2	2								1	
小計(21科目)	—	—	23	18	0	9	4	2	1	0	9	
職業専門科目	ヘルスプロモーション概論	1前	1									1
	ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1						
	人体構造学	1前	2			1						
	生理学	1前	2					1				
	皮膚科学	1前	2			1	1					
	化粧品学	1後	2			1	1					
	生化学	1後	2				1					
	栄養学	2前	2			1						
	衛生学・公衆衛生学	2後	2			1						
	リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1						
	救急法	3後	1			1						
	病態生理学	3・4後	1	1								1
	アンチエイジングの科学	3・4後	1	1								1
	統合医療論	3・4後	2									1
	身体運動学	3前	1			1						
	運動生理学	3前	1			1						
	運動指導演習	3前	2				1					
	企業実習Ⅳ(運動指導実習)[臨]	3後	2				2					
	フィットネス実習Ⅰ【※】	2前	1					1				1
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前	1					1				1	
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後	1					1				1	
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後	1					1				1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外(助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1					1
	キャリアデザインⅠ	1前	2				1					
	キャリアデザインⅡ	2後	2				1					
	コミュニケーション論	1後	2				1					
	コミュニケーション演習	1後	2				1					
	英語Ⅰ	1後	2			1		1	1			
	英語Ⅱ	2前	2			1		1	1			
	英語Ⅲ	2後	2		2	1						
	中国語入門	2後	2		2							1
	心理学	1前	2					1				
	比較芸術論	1後	2	2		1						
	身体表現論	1後	2	2		1						
	伝統文化演習	1後	2	2								4
	ジェンダーとダイバーシティ	1後	2	2		1						
	生命科学	1前	2			1		1				
	化学	1前	2			1						
	データサイエンス入門	1前	2									2
	経済学	1後	2			1						
	国際関係論	2前	2	2								1
法学概論	2前	2	2								1	
現代社会論	2前	2	2								1	
小計(21科目)	—	—	23	18	0	9	5	2	1	0	11	
職業専門科目	ヘルスプロモーション概論	1前	1									1
	ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1						
	人体構造学	1前	2			1						
	生理学	1前	2					1				1
	皮膚科学	1前	2			1	1					
	化粧品学	1後	2			1	1					
	生化学	1後	2				1					
	栄養学	2前	2			1						
	衛生学・公衆衛生学	2後	2			1						
	リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1						
	救急法	3後	1			1						
	病態生理学	3・4後	1	1								1
	アンチエイジングの科学	3・4後	1	1								1
	統合医療論	3・4後	2									1
	身体運動学	3前	1			1						
	運動生理学	3前	1			1						
	運動指導演習	3前	2				1					
	企業実習Ⅳ(運動指導実習)[臨]	3後	2				2					
	フィットネス実習Ⅰ【※】	2前	1					1				1
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前	1					1				1	
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後	1					1				1	
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後	1					1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基 を教 除員 く一 助以 手外	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1						
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1						
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1					
	トリートメント応用理論	2後	2				1					
	トリートメント品質管理論	3前	1				1					
	ホスピタリティ論	2前	1				1					
	ホスピタリティ演習	2前	1				1					
	カウンセリング論	2前	1					2				
	カウンセリング演習	2前	1					2				
	プランニング実習【※】	2後	2					2				
	ポデイトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1		1			
	ポデイトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2						1	1		
	ポデイトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2						1	1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2						1	1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2						1	1		
	トリートメント総合実習【※】	4前	4						2	2		
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2				1	3	4			
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2				1	3	4			
	トリートメント実践実習【連】	3前	2				1	4	2			
	品質管理演習【連】	3後	2				1	4	2			
	企業実習Ⅴ(総合実習)【臨】	4後	8				1	2	7	6		
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2					1			1	
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2					1			1	
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2					1	1			
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2				1				1	
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2				1				1	
美の変遷と展望	2後	2								1		
色彩学	2後	2								1		
アロマセラピー演習	3・4後	2								1		
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2				1						
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1						1				
トータルコーディネート実習【※】	4前	1									1	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	9		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基 を教 除員 く一 助以 手外		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
職業専門科目	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1							
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1							
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1						
	トリートメント応用理論	2後	2				1						
	トリートメント品質管理論	3前	1				1						
	ホスピタリティ論	2前	1				1						
	ホスピタリティ演習	2前	1				1						
	カウンセリング論	2前	1					2					
	カウンセリング演習	2前	1					2					
	プランニング実習【※】	2後	2					2					
	ポデイトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2						1	1			
	ポデイトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2							1	1		
	ポデイトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2							1	1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2							1	1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2						1		1		
	トリートメント総合実習【※】	4前	4						2	2			
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2						2	2	4		
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2						2	2	4		
	トリートメント実践実習【連】	3前	2						1	4	2		
	品質管理演習【連】	3後	2						1	4	2		
	企業実習Ⅴ(総合実習)【臨】	4後	8						1	3	6	6	
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2							1		1	
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2							1		1	
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2							1	1		
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2							1		1	
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2							1		1	
美の変遷と展望	2後	2									3		
色彩学	2後	2									1		
アロマセラピー演習	3・4後	2									1		
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2						1					
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1							1				
トータルコーディネート実習【※】	4前	1									3		
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	9	10	6	0	12

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基 数教 除員 く(一 助以 手外	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営学概論	2前	2			1						
	ファイナンスの基礎	2前	2			1						
	人材育成論	2後	2			1						
	経営組織論	3前	2			1						
	マーケティング論	3前	2			1						
	経営戦略論	3後	2			1						
	ヘルスケア産業論	2前	1									1
	サービス科学の基礎	2前	1									1
	消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1						1
	サロンマネジメント演習	3前	2					1				
	商品企画論	3後	2			1						
	起業論	3・4前		2		1						
	地域産業活性論	3・4前		2								1
	インバウンド論	3・4前		2								1
	ウェルネスツーリズム論	3・4前		2								1
	消費者心理論	3・4前		2								1
	ウェブメディア演習	3・4前		2								1
	ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前		2			1					
	商品開発と効果検証	4前		2			1					
海外研修【※】	4前		2									
小計(20科目)	—	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7	
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0
合計(97科目)			—	122	58	0	19	10	12	7	0	23
卒業要件及び履修方法												
次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)) 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法学概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上 総合科目は、4単位 実験・実習科目を40単位以上 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基 数教 除員 く(一 助以 手外	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営学概論	2前	2			1						
	ファイナンスの基礎	2前	2			1						
	人材育成論	2後	2			1						
	経営組織論	3前	2			1						
	マーケティング論	3前	2			1						
	経営戦略論	3後	2			1						
	ヘルスケア産業論	2前	1									1
	サービス科学の基礎	2前	1									1
	消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2				1					1
	サロンマネジメント演習	3前	2						1			
	商品企画論	3後	2						1			
	起業論	3・4前		2					1			
	地域産業活性論	3・4前		2								1
	インバウンド論	3・4前		2								1
	ウェルネスツーリズム論	3・4前		2								1
	消費者心理論	3・4前		2								1
	ウェブメディア演習	3・4前		2								1
	ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前		2				1				
	商品開発と効果検証	4前		2				1				
海外研修【※】	4前		2					1				
小計(20科目)	—	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7	
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			5	5	7	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			5	5	7	7			
	小計(2科目)	—	—	4	0	0	5	5	7	7	0	0
合計(97科目)			—	122	58	0	19	12	11	7	0	29
卒業要件及び履修方法												
次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)) 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法学概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上 総合科目は、4単位 実験・実習科目を40単位以上 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位												

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外(助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	キャリア教育	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1				1
		キャリアデザインⅠ	1前	2				1				
		キャリアデザインⅡ	2後	2				1				
	言語とコミュニケーション	コミュニケーション論	1後	2				1				
		コミュニケーション演習	1後	2				1				
		英語Ⅰ	1後	2					1	1		
		英語Ⅱ	2前	2					1	1		
		英語Ⅲ	2後	2	2			1				
		中国語入門	2後	2	2							1
	人間と文化	心理学	1前	2					1			
		比較芸術論	1後		2			1				
		身体表現論	1後		2			1				4
		伝統文化演習	1後		2							
		ジェンダーとダイバーシティ	1後		2			1				
	自然科学と社会	生命科学	1前	2			1	1				1
化学		1前	2			1						
データサイエンス入門		1前	2				1				3	
経済学		1後	2									
国際関係論		2前		2							1	
法学概論		2前		2							1	
現代社会論		2前		2							1	
小計(21科目)	—	23	18	0	9	5	2	1	0	13		
職業専門科目	基礎医学とヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション概論	1前	1								1
		ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1					
		人体構造学	1前	2			1					
		生理学	1前	2					1			
		皮膚科学	1前	2			1	1				
		化粧品学	1後	2			1	1				
		生化学	1後	2				1				
		栄養学	2前	2			1					
		衛生学・公衆衛生学	2後	2			1					
		リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1					
		救急法	3後	1			1					
		病態生理学	3・4後		1							1
		アンチエイジングの科学	3・4後		1							1
		統合医療論	3・4後		2							1
		身体運動学	3前	1			1					
運動生理学	3前	1			1							
運動指導演習	3前	2				1						
企業実習Ⅳ(運動指導実習)【臨】	3後	2				2						
フィットネス実習Ⅰ【※】	2前		1				1					
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前		1				1					
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後		1				1					
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後		1				1					

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外(助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	キャリア教育	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1				1
		キャリアデザインⅠ	1前	2				1				
		キャリアデザインⅡ	2後	2				1				
	言語とコミュニケーション	コミュニケーション論	1後	2				1				
		コミュニケーション演習	1後	2				1				
		英語Ⅰ	1後	2					1	1	1	
		英語Ⅱ	2前	2					1	1	1	
		英語Ⅲ	2後		2			1				
		中国語入門	2後		2							1
	人間と文化	心理学	1前	2					1			
		比較芸術論	1後		2			1				
		身体表現論	1後		2			1				
		伝統文化演習	1後		2							2
		ジェンダーとダイバーシティ	1後		2			1				
	自然科学と社会	生命科学	1前	2			1					2
化学		1前	2			1						
データサイエンス入門		1前	2				1				1	
経済学		1後	2					1				
国際関係論		2前		2							1	
法学概論		2前		2							1	
現代社会論		2前		2							1	
小計(21科目)	—	23	18	0	9	4	2	1	0	10		
職業専門科目	基礎医学とヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション概論	1前	1								1
		ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1					
		人体構造学	1前	2			1					1
		生理学	1前	2					1			
		皮膚科学	1前	2			1	1				
		化粧品学	1後	2			1	1				
		生化学	1後	2				1				
		栄養学	2前	2			1					
		衛生学・公衆衛生学	2後	2			1					
		リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1					
		救急法	3後	1			1					
		病態生理学	3・4後		1							1
		アンチエイジングの科学	3・4後		1							1
		統合医療論	3・4後		2							1
		身体運動学	3前	1			1					
運動生理学	3前	1			1							
運動指導演習	3前	2				1						
企業実習Ⅳ(運動指導実習)【臨】	3後	2				2						
フィットネス実習Ⅰ【※】	2前		1					1				
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前		1					1				
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後		1					1				
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後		1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(補助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1						
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1						
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1					
	トリートメント応用理論	2後	2				1					
	トリートメント品質管理論	3前	1				1					
	ホスピタリティ論	2前	1				1					
	ホスピタリティ演習	2前	1				1					
	カウンセリング論	2前	1					2				
	カウンセリング演習	2前	1					2				
	プランニング実習【※】	2後	2					2				
	ボディトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1			1		
	ボディトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2					1		1		
	ボディトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2					1		1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2					1		1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2					1		1		1
	トリートメント総合実習【※】	4前	4					2	2			
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2					1	3	4		
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2					1	3	4		
	トリートメント実践実習【連】	3前	2					1	4	2		
	品質管理演習【連】	3後	2					1	4	2		
	企業実習Ⅳ(総合実習)【臨】	4後	8				1	2	7	6		
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2					2				1
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2					1				1
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2					1	1			
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2					1				1
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2					1				1
美の変遷と展望	2後	2									3	
色彩学	2後	2									1	
アロマセラピー演習	3・4後	2									1	
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2				1						
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1						1				
トータルコーディネート実習【※】	4前	1									3	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	12		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(補助手)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
職業専門科目	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1						
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1						
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1					
	トリートメント応用理論	2後	2				1					
	トリートメント品質管理論	3前	1				1					
	ホスピタリティ論	2前	1				1					
	ホスピタリティ演習	2前	1				1					
	カウンセリング論	2前	1					2				
	カウンセリング演習	2前	1					2				
	プランニング実習【※】	2後	2					2				
	ボディトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1			1		
	ボディトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2					1		1		
	ボディトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2					1		1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2					1		1		
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2					1		1		1
	トリートメント総合実習【※】	4前	4					2	2			
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2					1	3	4		
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2					1	3	4		
	トリートメント実践実習【連】	3前	2					1	4	2		
	品質管理演習【連】	3後	2					1	4	2		
	企業実習Ⅳ(総合実習)【臨】	4後	8				1	2	7	6		
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2					1				1
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2					1				1
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2					1	1			
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2					1				1
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2					1				1
美の変遷と展望	2後	2									1	
色彩学	2後	2									1	
アロマセラピー演習	3・4後	2									1	
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2				1						
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1						1				
トータルコーディネート実習【※】	4前	1									1	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の専任教員数を除く(助手以外)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営の基礎	経営学概論	2前	2			1					
		ファイナンスの基礎	2前	2			1					
		人材育成論	2後	2			1					
		経営組織論	3前	2			1					
		マーケティング論	3前	2			1					
		経営戦略論	3後	2			1					
	ビューティ&ウェルネス産業の振興	ヘルスケア産業論	2前	1								1
		サービス科学の基礎	2前	1								1
		消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1					1
		サロンマネジメント演習	3前	2					1			
		商品企画論	3後	2			1					
		起業論	3・4前	2			1					
		地域産業活性論	3・4前	2								1
		インバウンド論	3・4前	2								1
		ウェルネスツーリズム論	3・4前	2								1
		消費者心理論	3・4前	2								1
		ウェブメディア演習	3・4前	2								1
		ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前	2				1				
		商品開発と効果検証	4前	2				1				
海外研修【※】	4前	2			1							
小計(20科目)	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7		
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0	
合計(97科目)	—	122	58	0	19	11	12	7	0	30		

卒業要件及び履修方法

次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。
 (履修科目の登録の上限: 48単位(年間))
 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上
 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法學概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。
 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上
 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。
 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上
 総合科目は、4単位
 実験・実習科目を40単位以上
 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					の専任教員数を除く(助手以外)	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営の基礎	経営学概論	2前	2			1					
		ファイナンスの基礎	2前	2			1					
		人材育成論	2後	2			1					
		経営組織論	3前	2			1					
		マーケティング論	3前	2			1					
		経営戦略論	3後	2			1					
	ビューティ&ウェルネス産業の振興	ヘルスケア産業論	2前	1								1
		サービス科学の基礎	2前	1								1
		消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1					1
		サロンマネジメント演習	3前	2					1			
		商品企画論	3後	2			1					
		起業論	3・4前	2			1					
		地域産業活性論	3・4前	2								1
		インバウンド論	3・4前	2								1
		ウェルネスツーリズム論	3・4前	2								1
		消費者心理論	3・4前	2								1
		ウェブメディア演習	3・4前	2								1
		ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前	2				1				
		商品開発と効果検証	4前	2				1				
海外研修【※】	4前	2			1							
小計(20科目)	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7		
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0	
合計(97科目)	—	122	58	0	19	10	12	7	0	25		

卒業要件及び履修方法

次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。
 (履修科目の登録の上限: 48単位(年間))
 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上
 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法學概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。
 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上
 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。
 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上
 総合科目は、4単位
 実験・実習科目を40単位以上
 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「専任教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当専任教員就任辞退の理由により、「人体構造学」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「生命科学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。

【令和6年度】

- ・教育効果を高めるため、「伝統文化演習」の兼任・兼担の配置を「2」から「4」に変更。
- ・担当兼任講師の専任教員採用の理由により、「生命科学」の教員配置を「教授1・兼任2」から「教授1・准教授1・兼任1」に変更。
- ・担当兼任講師辞任の理由により、「データサイエンス入門」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当専任教員採用の理由により、「人体構造学」の教員配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「フェイシャルトリートメント実習Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「美の変遷と展望」「トータルコーディネート実習」の兼任・兼担の配置を「1」から「3」に変更。

【令和7年度】

- ・令和7年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・担当の基幹教員以外の教員辞任の理由により、「生命科学」の教員配置を「教授1・准教授1・兼任1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当の基幹教員以外の教員辞任の理由により、「データサイエンス入門」の教員配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・担当の基幹教員育休休暇取得の理由により、「生理学」「フィットネス実習Ⅰ」「フィットネス実習Ⅱ」「フィットネス実習Ⅲ」「フィットネス実習Ⅳ」の教員配置を「講師1」から「講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当基幹教員辞任及び担当の基幹教員以外の教員の基幹教員採用の理由により、「フェイシャルトリートメント実習Ⅱ」の教員配置を「講師1・助教1・兼任1」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・担当基幹教員辞任及び基幹教員採用の理由により、「企業実習Ⅰ（早期体験実習）」「企業実習Ⅱ（接遇実習）」の教員配置を「准教授1・講師3・助教4」から「准教授2・講師2・助教4」に、「企業実習Ⅴ（総合実習）」の教員配置を「教授1・准教授2・講師7・助教6」から「教授1・准教授3・講師6・助教6」に変更。
- ・担当基幹教員辞任、基幹教員採用及び教育効果を高めるため、「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」の教員配置を「教授4・准教授4・講師8・助教7」から「教授5・准教授5・講師7・助教7」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
64 科目	33 科目	0 科目	97 科目	64 科目 [0]	33 科目 [0]	0 科目 [0]	97 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積： 13,676.71㎡ 借用期間： 20年			
	校舎敷地	13,676.71㎡	0㎡	0㎡	13,676.71㎡				
	その他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	13,676.71㎡	0㎡	0㎡	13,676.71㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共同利用研究室を増設したため(7)			
		11,553.17㎡			11,553.17㎡				
		11,339.14㎡ (11,339.14㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	11,339.14㎡ (11,339.14㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	34室	教員研究室	44室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点		
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				
	ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科	10,000 [700] (10,000 [700])	0 [0] (0 [0])	16 [1] (16 [1])	1 [1] (1 [1])	6,338 (4,216)	2 (2)		
	計	10,000 [700] (10,000 [700])	0 [0] (0 [0])	16 [1] (16 [1])	1 [1] (1 [1])	6,338 (4,216)	2 (2)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	—㎡		—㎡		529.24㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。学生食堂設置に伴う厨房機器購入のため(6)
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	39,740千円	1,527千円	1,663千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	224,173千円	168,439千円 144,789千円	0千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,595千円	第2年次 1,395千円	第3年次 1,395千円	第4年次 1,395千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入・雑収入等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	その他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	(例) 16 +5室 令和7年4月 専任教員教授1名を新規採用のため(7)		
		室	室	室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点		
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	
計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()		
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の2）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（5）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	ビューティ&ウェルネス専門職大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人 3年次 6	人		倍	倍	年度	年度					
ビューティ&ウェルネス学部	4	194	3年次 6	788	-	0.57	-	令和7	令和5	-	令和7年度から入学定員変更 (234→194)			
ビューティ&ウェルネス学科	4	194	3年次 6	788	ビューティ&ウェルネス学士(専門職)	0.57	-	令和7	令和5	神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3				
大学全体	4	194	3年次 6	788	-	0.57	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(学長)	室伏 きみ子 <令和5年4月> 医学博士 ビューティ&ウェルネス入門 生命科学
専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) <令和5年4月> 芸術学修士 ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論
専	教授	猪崎 弥生 <令和5年4月> 博士(学術) ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ
専	教授(学長)	本田 善一郎 <令和5年4月> 博士(医学) ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎 救急法
専	教授	中島 敬方 <令和6年4月> 修士(経営学) 経営学概論 経営戦略論
専	教授	林 明人 <令和5年4月> 医学博士 人体構造学 衛生学・公衆衛生学
専	教授	秦 由美子 <令和5年4月> 博士(教育学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
専	教授	山田 真二 <令和6年4月> 工学博士 化学
専	教授	山崎 泰明 <令和5年4月> 博士(技術経営) 経済学 ファイナンスの基礎
専	教授	新井 卓二 <令和5年10月> 博士(学術) 経済学 ファイナンスの基礎
専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 <令和5年4月> 博士(理学) 生化学
専	講師	清野(八太)静香 <令和6年4月> 学士(家政学) プランニング実習 ポテトリトメント実習Ⅲ※ トリートメント実践実習 品質管理実習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(学長)	室伏 きみ子 <令和5年4月> 医学博士 ビューティ&ウェルネス入門 生命科学
専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) <令和5年4月> 芸術学修士 ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論
専	教授	猪崎 弥生 <令和5年4月> 博士(学術) ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ
専	教授(学長)	本田 善一郎 <令和5年4月> 博士(医学) ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎 救急法
専	教授	中島 敬方 <令和6年4月> 修士(経営学) 経営学概論 経営戦略論
兼任	講師	山田 真二 <令和5年4月> 工学博士 化学
専	教授	新井 卓二 <令和5年10月> 博士(学術) 経済学 ファイナンスの基礎
専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 <令和5年4月> 博士(理学) 生化学
専	講師	清野(八太)静香 <令和6年4月> 学士(家政学) プランニング実習 ポテトリトメント実習Ⅲ トリートメント実践実習 品質管理実習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(学長)	室伏 きみ子 <令和5年4月> 医学博士 ビューティ&ウェルネス入門 生命科学
専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) <令和5年4月> 芸術学修士 ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論
専	教授	猪崎 弥生 <令和5年4月> 博士(学術) ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ
専	教授(学長)	本田 善一郎 <令和5年4月> 博士(医学) ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎 救急法
専	教授	中島 敬方 <令和6年4月> 修士(経営学) 経営学概論 経営戦略論
専	教授	山田 真二 <令和6年4月> 工学博士 化学
専	教授	新井 卓二 <令和5年10月> 博士(学術) 経済学 ファイナンスの基礎
専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 <令和5年4月> 博士(理学) 生化学
専	講師	清野(八太)静香 <令和6年4月> 学士(家政学) プランニング実習 ポテトリトメント実習Ⅲ トリートメント実践実習 品質管理実習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(学長)	室伏 きみ子 <令和5年4月> 医学博士 ビューティ&ウェルネス入門 生命科学
専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) <令和5年4月> 芸術学修士 ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論
専	教授	猪崎 弥生 <令和5年4月> 博士(学術) ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ
専	教授(学長)	本田 善一郎 <令和5年4月> 博士(医学) ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎 救急法
専	教授	中島 敬方 <令和6年4月> 修士(経営学) 経営学概論 経営戦略論
専	教授	南沢 享 <令和6年6月> 博士(医学) 人体構造学 衛生学・公衆衛生学
専	教授	秦 由美子 <令和5年4月> 博士(教育学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
専	教授	山田 真二 <令和6年4月> 工学博士 化学
専	教授	新井 卓二 <令和5年10月> 博士(学術) 経済学 ファイナンスの基礎
専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 <令和5年4月> 博士(理学) 生化学
専	講師	清野(八太)静香 <令和6年4月> 学士(家政学) プランニング実習 ポテトリトメント実習Ⅲ トリートメント実践実習 品質管理実習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	DIAZ STEPHEN <令和5年4月> 学士(経済学)	英語 I 英語 II
専	講師	石田 航 <令和5年4月> 博士(心理学)	心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 <令和6年4月> 理学士	消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 <令和5年4月> 工学士	皮膚科学 化粧品学
実専	教授	下村 朱美 <令和5年4月> 短期大学卒	ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 <令和6年4月> 文学士	人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 <令和5年4月> 理学博士	皮膚科学 化粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 <令和5年4月> 学士(家政学)	ビューティ&ウェルネス入門 ホテリトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接客実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 <令和6年4月> 学士(史学)	トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 <令和7年4月> ビューティビジネス修士(専門職)	企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 <令和5年4月> 学士(中国語学)	フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	DIAZ STEPHEN <令和5年4月> 学士(経済学)	英語 I 英語 II
専	講師	横田(星野) 悠季 <令和5年4月> 博士(社会科学)	心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 <令和6年4月> 理学士	消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 <令和5年4月> 工学士	皮膚科学 化粧品学
実専	教授	下村 朱美 <令和5年4月> 短期大学卒	ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 <令和6年4月> 文学士	人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 <令和5年4月> 理学博士	皮膚科学 化粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 <令和5年4月> 学士(家政学)	ビューティ&ウェルネス入門 ホテリトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接客実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 <令和6年4月> 学士(史学)	トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 <令和7年4月> ビューティビジネス修士(専門職)	企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 <令和5年4月> 学士(中国語学)	フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	DIAZ STEPHEN <令和5年4月> 学士(経済学)	英語 I 英語 II
専	講師	横田(星野) 悠季 <令和5年4月> 博士(社会科学)	心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 <令和6年4月> 理学士	消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 <令和5年4月> 工学士	皮膚科学 化粧品学
実専	教授	下村 朱美 <令和5年4月> 短期大学卒	ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 <令和6年4月> 文学士	人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 <令和5年4月> 理学博士	皮膚科学 化粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 <令和5年4月> 学士(家政学)	ビューティ&ウェルネス入門 ホテリトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接客実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 <令和6年4月> 学士(史学)	トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 <令和7年4月> ビューティビジネス修士(専門職)	企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 <令和5年4月> 学士(中国語学)	フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	DIAZ STEPHEN <令和5年4月> 学士(経済学)	英語 I 英語 II
専	講師	横田(星野) 悠季 <令和5年4月> 博士(社会科学)	心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 <令和6年4月> 理学士	消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 <令和5年4月> 工学士	皮膚科学 化粧品学
実専	教授	下村 朱美 <令和5年4月> 短期大学卒	ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 <令和6年4月> 文学士	人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 <令和5年4月> 理学博士	皮膚科学 化粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 <令和5年4月> 学士(家政学)	ビューティ&ウェルネス入門 ホテリトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接客実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 <令和6年4月> 学士(史学)	トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 <令和7年4月> ビューティビジネス修士(専門職)	企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 <令和5年4月> 学士(中国語学)	フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実専	助教	香取 翔子 <令和5年4月> 学士(経営学)	フェイシャルトリートメント実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	生山 匡 <令和7年4月> 博士(医学)	身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 <令和7年4月> 博士(学術)	マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 <令和7年4月> 博士(医学)	栄養学 商品企画論 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	大滝 ゆかり <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論I トリートメント基礎理論II 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	菅谷 正美 <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 <令和5年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインI キャリアデザインII
実(研)	准教授	小野 浩二 <令和7年4月> 修士(体育学)	運動指導演習 企業実習IV(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 <令和7年4月> 学士(体育学)	企業実習IV(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)	コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 <令和5年4月> 博士(心理学)	メイクアップ実習I メイクアップ実習II 企業実習III(メイクサロン実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	新井 達也 <令和6年4月> 修士(工学)	プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	櫻井 麻美 <令和5年4月> 修士(医学)	生理学 フィットネス実習I フィットネス実習II フィットネス実習III フィットネス実習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実専	助教	香取 翔子 <令和5年4月> 学士(経営学)	フェイシャルトリートメント実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	生山 匡 <令和7年4月> 博士(医学)	身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 <令和7年4月> 博士(学術)	マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 <令和7年4月> 博士(医学)	栄養学 商品企画論 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	大滝 ゆかり <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論I トリートメント基礎理論II 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	菅谷 正美 <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 <令和5年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインI キャリアデザインII
実(研)	准教授	小野 浩二 <令和7年4月> 修士(体育学)	運動指導演習 企業実習IV(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 <令和7年4月> 学士(体育学)	企業実習IV(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)	コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 <令和5年4月> 博士(心理学)	メイクアップ実習I メイクアップ実習II 企業実習III(メイクサロン実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	新井 達也 <令和6年4月> 修士(工学)	プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	櫻井 麻美 <令和5年4月> 博士(医学)	生理学 フィットネス実習I フィットネス実習II フィットネス実習III フィットネス実習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実専	助教	香取 翔子 <令和5年4月> 学士(経営学)	フェイシャルトリートメント実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	生山 匡 <令和7年4月> 博士(医学)	身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 <令和7年4月> 博士(学術)	マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 <令和6年4月> 博士(医学)	栄養学 商品企画論 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	大滝 ゆかり <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論I トリートメント基礎理論II 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	菅谷 正美 <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 <令和5年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインI キャリアデザインII
実(研)	准教授	小野 浩二 <令和7年4月> 修士(体育学)	運動指導演習 企業実習IV(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 <令和7年4月> 学士(体育学)	企業実習IV(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)	コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 <令和5年4月> 博士(心理学)	メイクアップ実習I メイクアップ実習II 企業実習III(メイクサロン実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	新井 達也 <令和6年4月> 修士(工学)	プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	櫻井 麻美 <令和5年4月> 博士(医学)	生理学 フィットネス実習I フィットネス実習II フィットネス実習III フィットネス実習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
実専	助教	香取 翔子 <令和5年4月> 学士(経営学)	フェイシャルトリートメント実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	生山 匡 <令和7年4月> 博士(医学)	身体運動学 運動生理学
専	教授	田中 正秀 <令和7年4月> 博士(学術)	マーケティング論 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	押田 恭一 <令和6年4月> 博士(医学)	栄養学 商品企画論 総合演習I 総合演習II
実(研)	教授	大滝 ゆかり <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論I トリートメント基礎理論II 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	菅谷 正美 <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)	コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 <令和5年4月> 修士(経営学)	キャリアデザインI キャリアデザインII
実(研)	准教授	小野 浩二 <令和7年4月> 修士(体育学)	運動指導演習 企業実習IV(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 <令和7年4月> 学士(体育学)	企業実習IV(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習I 総合演習II
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)	コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 <令和5年4月> 博士(心理学)	メイクアップ実習I メイクアップ実習II 企業実習III(メイクサロン実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	新井 達也 <令和6年4月> 修士(工学)	プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習V(総合実習) 総合演習I 総合演習II
実(研)	講師	櫻井 麻美 <令和5年4月> 博士(医学)	生理学 フィットネス実習I フィットネス実習II フィットネス実習III フィットネス実習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教員	本鍋田 あゆみ <令和7年4月> 短期大学卒	ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
		荒川 雅志 <令和5年4月> 博士(医学)	
兼任	講師	田 芳 <令和6年4月> 博士(文学)	中国語入門
		倉田 克史 <令和5年4月> 学士(経済学)	伝統文化演習
兼任	講師	神保 宗播(今井 美穂子) <令和5年4月> 学士(文学)	伝統文化演習
		滝澤 公子 <令和5年4月> 歯学博士	生命科学
兼任	講師	栗浜 誠二 <令和5年4月> 経済学士	データサイエンス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教員	本鍋田 あゆみ <令和7年4月> 短期大学卒	ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
		荒川 雅志 <令和5年4月> 博士(医学)	
兼任	講師	田 芳 <令和6年4月> 博士(文学)	中国語入門
		倉田 克史 <令和5年4月> 学士(経済学)	伝統文化演習
兼任	講師	神保 宗播(今井 美穂子) <令和5年4月> 学士(文学)	伝統文化演習
		滝澤 公子 <令和5年4月> 歯学博士	生命科学
兼任	講師	栗浜 誠二 <令和5年4月> 経済学士	データサイエンス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教員	本鍋田 あゆみ <令和7年4月> 短期大学卒	ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
		荒川 雅志 <令和5年4月> 博士(医学)	
兼任	講師	田 芳 <令和6年4月> 博士(文学)	中国語入門
		倉田 克史 <令和5年4月> 学士(経済学)	伝統文化演習
兼任	講師	神保 宗播(今井 美穂子) <令和5年4月> 学士(文学)	伝統文化演習
		滝澤 公子 <令和5年4月> 歯学博士	生命科学
専任	准教授	齋藤 幸枝 <令和6年4月> 博士(学術)	生命科学
兼任	講師	穴沢 悦子 <令和6年4月> 工学士	データサイエンス入門
		平尾 慶 <令和6年4月> 理学士	データサイエンス入門
兼任	講師	田邊 美奈子 <令和6年4月> 博士(学術)	データサイエンス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教員	本鍋田 あゆみ <令和7年4月> 短期大学卒	ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
		荒川 雅志 <令和5年4月> 博士(医学)	
兼任	講師	田 芳 <令和6年4月> 博士(文学)	中国語入門
		倉田 克史 <令和5年4月> 学士(経済学)	伝統文化演習
兼任	講師	神保 宗播(今井 美穂子) <令和5年4月> 学士(文学)	伝統文化演習
		滝澤 公子 <令和5年4月> 歯学博士	生命科学
専任	准教授	齋藤 幸枝 <令和6年4月> 博士(学術)	生命科学
兼任	講師	穴沢 悦子 <令和6年4月> 工学士	データサイエンス入門
		平尾 慶 <令和6年4月> 理学士	データサイエンス入門
兼任	講師	田邊 美奈子 <令和6年4月> 博士(学術)	データサイエンス入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	法眼 健作 <令和6年4月> Master of Arts (英国)	国際関係論
兼任	講師	松久 僚成 <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	法学概論
兼任	講師	川山 竜二 <令和6年4月> 修士 (社会学)	現代社会論
兼任	講師	島内 憲夫 <令和5年4月> 博士 (医学)	ヘルスプロモーション概論
兼任	講師	吉長 成恭 <令和6年4月> 医学博士	病態生理学 ヘルスケア産業論
兼任	講師	塩谷 信幸 <令和7年4月> 医学士	アンチエイジングの科学
兼任	講師	一石 英一郎 <令和7年4月> 医学博士	統合医療論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	法眼 健作 <令和6年4月> Master of Arts (英国)	国際関係論
兼任	講師	松久 僚成 <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	法学概論
兼任	講師	川山 竜二 <令和6年4月> 修士 (社会学)	現代社会論
兼任	講師	島内 憲夫 <令和5年4月> 博士 (医学)	ヘルスプロモーション概論
兼任	講師	青木 武生 <令和5年4月> 博士 (医学)	人体構造学
兼任	講師	吉長 成恭 <令和6年4月> 医学博士	病態生理学 ヘルスケア産業論
兼任	講師	塩谷 信幸 <令和7年4月> 医学士	アンチエイジングの科学
兼任	講師	一石 英一郎 <令和7年4月> 医学博士	統合医療論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	法眼 健作 <令和6年4月> Master of Arts (英国)	国際関係論
兼任	講師	松久 僚成 <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	法学概論
兼任	講師	川山 竜二 <令和6年4月> 修士 (社会学)	現代社会論
兼任	講師	島内 憲夫 <令和5年4月> 博士 (医学)	ヘルスプロモーション概論
兼任	講師	吉長 成恭 <令和6年4月> 医学博士	病態生理学 ヘルスケア産業論
兼任	講師	塩谷 信幸 <令和7年4月> 医学士	アンチエイジングの科学
兼任	講師	一石 英一郎 <令和7年4月> 医学博士	統合医療論
兼任	講師	田中 芳美 <令和6年9月> 修士 (スポーツ科学)	フィットネス実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	守谷 優希 <令和7年4月> 国際・行政修士 (専門職)	国際関係論
兼任	講師	松久 僚成 <令和6年4月> 法務博士 (専門職)	法学概論
兼任	講師	川山 竜二 <令和6年4月> 修士 (社会学)	現代社会論
兼任	講師	島内 憲夫 <令和5年4月> 博士 (医学)	ヘルスプロモーション概論
兼任	講師	吉長 成恭 <令和6年4月> 医学博士	病態生理学
兼任	講師	五十嵐 康 <令和7年4月> 理学博士	生理学
兼任	講師	一石 英一郎 <令和7年4月> 医学博士	アンチエイジングの科学 統合医療論
兼任	講師	長谷川 龍成 <令和7年4月> 修士 (スポーツ健康科学)	フィットネス実習Ⅰ
兼任	講師	田中 芳美 <令和6年9月> 修士 (スポーツ科学)	フィットネス実習Ⅱ
兼任	講師	岡橋 優子 <令和7年4月> 学士 (外国医学)	フィットネス実習Ⅲ
兼任	講師	田辺 進康 <令和7年4月> 修士 (スポーツ健康科学)	フィットネス実習Ⅳ
兼任	講師	大久保 進敏 <令和7年4月> 専門学校卒	フィットネス実習Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	重田(岡田) やよひ <令和5年4月> 専門学校卒	メイクアップ実習 I メイクアップ実習 II
兼任	講師	森実 まり <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II
兼任	講師	公文 裕子 <令和6年4月> 短期大学卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	三浦 南海子 <令和6年4月> 教養学士	色彩学
兼任	講師	柳川 舞 <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)	アロマセラピー演習
兼任	講師	藤村 博之 <令和6年4月> 博士(経済学)	サービス科学の基礎
兼任	講師	渡辺 演久 <令和6年4月> 修士(法学)	消費者生活論(関係法規を含む)
兼任	講師	榎田 竜路 <令和7年4月> 経済学士	地域産業活性化論 ウェブメディア演習
兼任	講師	山田(奥名) 祐子 <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)	インバウンド論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	重田(岡田) やよひ <令和5年4月> 専門学校卒	メイクアップ実習 I メイクアップ実習 II
兼任	講師	森実 まり <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II
兼任	講師	公文 裕子 <令和6年4月> 短期大学卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	三浦 南海子 <令和6年4月> 教養学士	色彩学
兼任	講師	柳川 舞 <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)	アロマセラピー演習
兼任	講師	藤村 博之 <令和6年4月> 博士(経済学)	サービス科学の基礎
兼任	講師	渡辺 演久 <令和6年4月> 修士(法学)	消費者生活論(関係法規を含む)
兼任	講師	榎田 竜路 <令和7年4月> 経済学士	地域産業活性化論 ウェブメディア演習
兼任	講師	山田(奥名) 祐子 <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)	インバウンド論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	重田(岡田) やよひ <令和5年4月> 専門学校卒	メイクアップ実習 I メイクアップ実習 II
兼任	講師	森実 まり <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II
兼任	講師	公文 裕子 <令和6年4月> 短期大学卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	鈴木 ひろ子 <令和6年4月> 専門学校卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	謝 嘉玲 <令和6年4月> 博士(造形学)	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	三浦 南海子 <令和6年4月> 教養学士	色彩学
兼任	講師	柳川 舞 <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)	アロマセラピー演習
兼任	講師	榎 博 <令和6年4月> 博士(経営学)	サービス科学の基礎
兼任	講師	渡辺 演久 <令和6年4月> 修士(法学)	消費者生活論(関係法規を含む)
兼任	講師	榎田 竜路 <令和7年4月> 経済学士	地域産業活性化論 ウェブメディア演習
兼任	講師	山田(奥名) 祐子 <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)	インバウンド論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	重田(岡田) やよひ <令和5年4月> 専門学校卒	メイクアップ実習 I メイクアップ実習 II
兼任	講師	森実 まり <令和5年4月> 専門学校卒	ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II
兼任	講師	公文 裕子 <令和6年4月> 短期大学卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	鈴木 ひろ子 <令和6年4月> 専門学校卒	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	謝 嘉玲 <令和6年4月> 博士(造形学)	美の衰退と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	三浦 南海子 <令和6年4月> 教養学士	色彩学
兼任	講師	黒澤 円 <令和7年9月> 短期大学卒	アロマセラピー演習
兼任	講師	榎 博 <令和6年4月> 博士(経営学)	サービス科学の基礎
兼任	講師	渡辺 演久 <令和6年4月> 修士(法学)	消費者生活論(関係法規を含む)
兼任	講師	太田 龍馬 <令和7年4月> 学士(芸術)	地域産業活性化論 ウェブメディア演習
兼任	講師	城本 高輝 <令和7年4月> 修士(工学)	インバウンド論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂本 和子 <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	坂本 和子 <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	坂本 和子 <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	坂本 和子 <令和7年4月> 博士(経営学)
		消費者心理論			消費者心理論			消費者心理論			消費者心理論

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- 教員がバテ/カル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧がキリムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のキリム(新がキリム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のキリム(旧がキリム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・石田航講師就任辞退により、横田悠季講師に変更。令和5年2月AC教員審査済み。
- ・山崎泰明教授就任辞退により、新井卓二教授に変更。令和5年5月AC教員審査済み。
- ・林明人教授就任辞退により、令和5年度のみ青木武生非常勤講師に変更。後任について、令和6年4月から専任教員採用予定。
- ・教育効果を高めるため、園部幸枝非常勤講師就任。

【令和6年度】

- ・押田恭一教授の就任年月について、令和7年4月から令和6年4月に変更。
- ・教育効果を高めるため、永田清江非常勤講師・渡辺博非常勤講師就任。
- ・教育効果を高めるため、園部幸枝非常勤講師が准教授就任。令和6年2月AC教員審査済み。
- ・乗浜誠二非常勤講師辞任により、穴沢悦子非常勤講師・平尾慶非常勤講師・田邊美奈子非常勤講師に変更。
- ・教育効果を高めるため、鈴木ひろ子非常勤講師・謝恵玲非常勤講師就任。
- ・藤村博之非常勤講師就任辞退により、幡鎌博非常勤講師就任。
- ・林明人教授就任辞退により、南沢享教授に変更。令和6年5月AC教員審査済み。令和6年6月から専任教員採用予定。
- ・教育効果を高めるため、中居知子非常勤講師就任。

【令和7年度】

- ・越川治枝講師辞任により、中居知子准教授に変更。令和6年12月AC教員審査済み。
- ・川口亜美講師の就任年月について、令和7年4月から令和8年4月に変更。
- ・寺田麻実香助教の就任年月について、令和7年4月から令和8年4月に変更。
- ・平井由紀子教授就任辞退により、田中正秀教授に変更。令和7年2月AC教員審査済み。
- ・荒川雅志非常勤講師辞任により、江洲敦非常勤講師・干航非常勤講師に変更。
- ・滝澤公子非常勤講師辞任。
- ・平尾慶非常勤講師辞任。
- ・法眼健作非常勤講師辞任により、守谷優希非常勤講師に変更。
- ・櫻井麻美講師育児休暇取得により、五十嵐康非常勤講師・長谷川龍成非常勤講師・岡橋優子非常勤講師・田辺達磨非常勤講師・大久保進哉非常勤講師が代替。
- ・塩谷信幸非常勤講師就任辞退により、一石英一郎非常勤講師に変更。
- ・柳川舞非常勤講師就任辞退により、黒澤円非常勤講師に変更。
- ・授業科目「ヘルスケア産業論」の担当について、吉長成恭非常勤講師から江洲敦非常勤講師に変更。
- ・榎田竜路非常勤講師就任辞退により、太田龍馬非常勤講師に変更。
- ・山田祐子非常勤講師就任辞退により、城本高輝非常勤講師に変更。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。

原則としてAC教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。

- ・AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	基幹教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	基幹教員数のうち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(αの4分の3以上)	基幹教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	基幹教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
35	18	27	14	7
名	名	名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一(2)及び第四十二条の三、専門職大学設置基準別表第一及び第三十五条、専門職短期大学設置基準別表第一及び第三十二条により算出される専任教員数を記。

(2) 一② 基幹教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況							
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')		
19	10	12	7	48	0	19	12	10	6	47	0		
(11)	(7)	(5)	(4)	(27)	(0)								
基幹教員数(基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)」、「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(α)	実務家基幹教員数(実基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(β)	実務家基幹教員数(実研基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(γ)	基幹教員数(基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(α)	実務家基幹教員数(実基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(β)	実務家基幹教員数(実研基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(γ)	計(B)=α+β+γ	
13	13	22	12	1	48	15	15	20	20	11	11	1	47
(10)	(10)	(11)	(6)	(6)	(0)								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')		
19	12	10	7	48	0	19	12	10	7	48	0		
[0]	[+2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]		
基幹教員数(基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(α)	実務家基幹教員数(実基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(β)	実務家基幹教員数(実研基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(γ)	基幹教員数(基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(α)	実務家基幹教員数(実基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(β)	実務家基幹教員数(実研基)	専ら専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「専任(基)専」)及び「実務(基)専」の計(γ)	計(D)=α+β+γ	
15	15	21	11	1	48	15	15	22	11	11	0	48	
[+2]	[+2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[+2]	[+2]	[0]	[0]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[48]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準)」として、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 その際、「基幹教員数(基)」欄、「実務家基幹教員数(実基)」欄、「実務家基幹教員数(実研基)」欄、「みなし基幹教員数(実み基)」欄は、それぞれ「専任教員数(専)」欄、「実務家専任教員数(実専)」欄、「実務家専任教員数(実研)」欄、「みなし専任教員数(実み専)」欄として、「実務家専任教員数(実専)」欄は実務家教員、「実務家専任教員数(実研)」欄は研究能力を併せ有する実務家教員、「みなし専任教員数(実み専)」欄は「実務家専任教員数(実専)」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員数を記入してください。
 また、α、β、γ及び計(A、B、C、D)欄には「-」を記入してください。
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要経過済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
教授70 教授以外67	2	5
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = $\frac{48}{48} = 100$ %
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{48}{48} = 100$ %
 設置時の計画(A')

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) = $\frac{2}{47} = 4.25$ %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) = $\frac{0}{0} = -$ %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	林 明人	R5.2	必修	人体構造学	①	R5.2 自己都合のため就任辞退（5）						
				必修	衛生学・公衆衛生学	①							
2	教授	山崎 泰明	R4.9	必修	経済学	①	R4.9 自己都合のため就任辞退（5）						
				必修	ファイナンスの基礎	①							
3	講師	石田 航	R4.10	必修	心理学	①	R4.10 自己都合のため就任辞退（5）						
				必修	カウンセリング論	①							
				必修	カウンセリング演習	①							
				必修	総合演習Ⅰ	①							
4	教授	平井 由紀子	R6.10	必修	マーケティング論	①	R6.10 自己都合のため就任辞退（7）						
5	講師	川口 亜美	R7.1	必修	トリートメント総合実習	①	R7.1 自己都合のため就任延期 R8.4 就任予定（7）						
				必修	企業実習Ⅰ（早期体験実習）	①							
				必修	企業実習Ⅱ（接遇実習）	①							
				必修	企業実習Ⅴ（総合実習）	①							
				必修	総合演習Ⅰ	①							
6	助教	寺田 麻実香	R7.1	必修	トリートメント総合実習	①	R7.1 自己都合のため就任延期 R8.4 就任予定（7）						
				必修	企業実習Ⅰ（早期体験実習）	①							
				必修	企業実習Ⅱ（接遇実習）	①							
				必修	企業実習Ⅴ（総合実習）	①							
				必修	総合演習Ⅰ	①							
合計（D）			後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
6	人	必修	22	科目	必修	22	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	22	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	講師	越川 治枝	R6.7	必修	トリートメント総合実習	①	R7.3.31付け自己都合のため辞任（7）						
				必修	企業実習Ⅰ（早期体験実習）	①							
				必修	企業実習Ⅱ（接遇実習）	①							
				必修	企業実習Ⅴ（総合実習）	①							
				必修	総合演習Ⅰ	①							
				必修	総合演習Ⅱ	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
7	人	必修	28	科目	必修	28	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{7}{48} = 14.58\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

4 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

3名の専任教員就任予定者が自己都合により就任辞退したことは遺憾であったが、うち2名については授業開始までに就任辞退した教員と遜色のない業績のある専任教員の後任補充者を採用することができ、問題なく対応ができたと考えている。後任未定の1名については、就任辞退が授業開始の直前であったため、AC教員審査が間に合わず、やむを得ず教育研究業績の申し分のない非常勤講師を採用したが、次年度の授業開始までに後任の専任教員を採用したいと考えている。(5)
 後任未定だった「人体構造学」「衛生学・公衆衛生学」の担当教員1名についても、授業開始までに後任補充者を採用した。(6)
 学生への周知については、設置計画履行状況報告書をホームページに掲載するとともに、年度はじめのオリエンテーションや履修登録ガイダンスにおいても学生に直接説明をした。(6)
 就任辞退の「マーケティング論」の担当教員1名及び辞任した専任教員1名については、授業開始までに後任補充者を採用した。また、就任延期となった2名については、令和7年度開講科目である「企業実習Ⅰ（早期体験実習）」「企業実習Ⅱ（接遇実習）」「総合演習Ⅰ」については、他に担当教員が複数いることから、問題ないものと考えている。(7)
 学生への周知については、設置計画履行状況報告書をホームページに掲載するとともに、年度はじめのオリエンテーションや履修登録ガイダンスにおいても学生に直接説明をした。(7)

(注)・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和5年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究するという大学の目的、さらに専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開するという専門職大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>教職員に向けて、本学の設置の趣旨及び社会的意義について理解を深めるFD活動を行うとともに、学生に向けて入学式後のオリエンテーションにおいて、本学設置の経緯、教育理念、3つのポリシー等を記載した学生便覧を活用し、詳細に説明した。1年次開設科目を着実に実施し、学生に体系的・総合的に広い知識と専門的能力を修得させる。特に、前期配当科目「ビューティ&ウェルネス入門」では、“ビューティ&ウェルネス”について理解を深め、ビューティ&ウェルネス産業界における自らの未来を想像させることで、本学の設置の趣旨や目的、養成する人材像を学生に理解させる。(5) (6) (7)</p> <p>専門職大学である本学が、理念や目的に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行うため、自己点検・評価報告書の作成を開始した。令和6年度に組織された「自己点検・評価委員会」では、まず「自己点検・評価チェックリスト」を作成し、設定した項目に対して自己点検チェックを行い、総評をホームページで公開した。令和7年度中には、自己点検・評価報告書を作成し、公開する予定である。その後、将来的な外部認証評価機関の受審に向けて、学外評価委員会を立ち上げ、外部評価報告書の作成を目指す。</p> <p>教育面では、担当教員の変更を除けば、概ね設置計画どおり履行している。教育環境の整備としては、令和5年度に学内売店及び学生食堂の設置、令和6年度に講義室・トイレ・共用スペース等の改修工事を行った。研究面では、令和7年度、科研費は2件の採択を受けている。研究環境の整備としては、多くの外部研究費を獲得するため、間接経費の半額を研究者に配分したり、全学的な研究力を高めるため、研究紀要を作成したりしている。令和6年度には、ビューティ&ウェルネスに関する研究活動を行い、関連する施設・設備・専門知識を学内研究者および学生に提供するため、学内に共同実験室を設置した。</p> <p>運営面では、教育研究水準の向上や活性化のため、随時、必要な各種規程や委員会を整備している。中でも教授会は、設置計画ではその構成員を教授・准教授としていたが、令和年度からは構成員を全教員に変更したことにより、大学全体の教育研究に関する重要事項について、教員全体の意見が反映されやすくなり、大学の理念・目的を実現するための公正かつ民主的な運営に繋がることとなる。(7)</p>	<p>全教員（非常勤講師を含む。）を対象とした教育方法に関する研修会を開催し、“ビューティ&ウェルネス”や“ビューティ&ウェルネス産業”について理解を深め、さらに本学の設置の趣旨や目的、養成する人材像の共有化を図るとともに、各教科の教育水準の向上に努める。そのため教員の研究力の向上を図り、社会への発信力を高める。(5) (6) (7)</p>

【認可】
遵守事項 履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和5年)</p>	<p>・教育課程連携協議会の適切な運用等により、養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに、その教育水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>教育課程連携協議会を設置した。また、同協議会の開催に向けて、学生の授業評価アンケートやピアレビュー等の準備を進めた。(5) 令和6年3月24日に第1回教育課程連携協議会を開催した。同協議会の第2回開催に向けて、準備を進めている。(6) 令和6年10月29日に第2回教育課程連携協議会を開催した。(7) <協議事項> ①令和8年度に新設予定のビューティサイエンス学科(仮称)について ②企業実習Ⅰ(1年次の後期)及び企業実習Ⅱ(2年次後期)の実施状況について ③令和6年度における授業評価アンケート結果について ④令和5年度の自己点検・自己評価について ⑤設置計画履行状況調査について</p>	<p>教育課程連携協議会は、年2回の開催を予定している。開設科目の実施状況を踏まえ、ビューティ&ウェルネス産業界や地域社会の学外の有識者からの意見等に基づき、教育内容・方法等の見直しを行う。(5)(6)(7) 令和7年度においては、令和8年2月に実施する予定であるが、以下の事項について報告・協議する予定である。 ①専門職大学院「ビューティ&ウェルネス研究科ビューティ&ウェルネス専攻(仮称)」の令和9年度設置予定について ②令和7年度における授業評価アンケート結果について ③令和5・6年度における自己点検・自己評価について ④設置計画履行状況調査について</p>
<p>設置計画履行状況調査結果 (令和5年度)</p>	<p>・教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>収容定員充足に向け、以下のような方策を実施している。(6) ・近隣及び希望のあった高校の進路担当教員に向けた対面及びオンラインの説明会を実施し、本学の教育内容の周知を諮っている。 ・在学生の出身校に、教職員と学生とで訪問し、顔馴染みの高校教員に対して本学の趣旨や教育・研究体制をより明確に知って頂き、さらに出前授業等を提案し、実施した。 ・オープンキャンパスの内容を再検討し、受験生が本学により興味を抱くような魅力的なプログラムを構築し、実施した。 ・入試広報課職員による本学近隣(一都三県)の高等学校訪問を行った。さらに、地方の高等学校まで範囲を拡大し、本学の存在と設置の意義の周知に努めている。 ・学生目線での本学独自の魅力をインスタグラム等で発信するため、在学生有志による学生募集チームBEWS(ビューズ)を組織した。 ・大学案内に加え、高校生やその保護者に向けた入試関連情報や本学の教育内容などを分かりやすく伝えるための広報誌の発行やWEB配信を企画した。</p>	<p>収容定員充足に向け、昨年度に引き続き、高校教員への説明会の実施、高校訪問とインターネットを活用した情報発信に注力する。あわせて、以下のような取り組みを行う。(6) ・大学の教育・研究の内容を通して、本学の学びの魅力が伝わるようにホームページを改修する。 ・オープンキャンパスの内容について、模擬授業内容を見直し、専門職大学らしい「実習」を多く取り入れる。また、専門職大学の卒業後の進路が見えにくいという声が少なくないことから、就職先として想定される企業に講演を依頼する。 ・社会人や留学生の入学生を増やすための方策を検討するとともに、受け入れ体制を確立する。</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	<p>・教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。</p> <p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>収容定員充足に向け、昨年度からの取り組みを引き続き実施し、さらに以下のような取り組みを実施する。 (7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの留学生への学生募集活動を強化し、定員確保の一助とする。あわせて、一定の日本語能力を有する留学生を受け入れるための体制を構築する。 ・社会人や短大・専門学校卒業生への学生募集活動を強化し、3年次編入を促進することで、定員未充足の補填を図る。 ・現行の入学者選抜制度の検証を行うとともに、今後の在り方について再検討する。 ・通信制高校へのアプローチを強化し、入学実績のある通信制高校については指定校の指定を検討する。 ・オープンキャンパスの開催時期及びイベント内容の大幅な見直しを行い、高校2年生への働きかけを着実に行うことにより、出願・受験に結びつける。 <p>収容定員充足率の適正化を図るため、入学定員及び収容定員の変更を行った。(令和6年12月26日学則変更届提出)令和7年度より、入学定員を234人から194人(3年次編入学定員6人は変更なし)に変更したことに伴い、収容定員は948人から788人(変更完成時・令和10年)に変更となった。(7)</p> <p style="text-align: center;">履行中</p>	<p>令和8年4月、ビューティ&ウェルネス学科の定員振替により、ビューティ&ウェルネス学部にビューティサイエンス学科を設置する。(令和7年5月1日設置届提出)これにより、学部の収容定員充足率の改善を目指す。(7)</p> <p>①新設する学部・学科 ビューティ&ウェルネス学部 ビューティサイエンス学科 入学定員40人 収容定員160人</p> <p>②定員を変更する学部・学科 ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科 (変更前) 入学定員194人 3年次編入学定員6人 収容定員788人 ↓ (変更後) 入学定員154人 3年次編入学定員6人 収容定員628人</p>

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理室、講義室 ・ 学生食堂 ・ 共同利用研究室 <p>② 入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選抜方法別の募集人員 ・ 社会人選抜、帰国生徒選抜 <p>③ 収容定員変更に係る学則変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学定員、収容定員の変更 ・ 教授会構成員の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理室（210.22㎡）の天井が老朽化により、雨漏りのリスクがあることが判明したため、精密機器を使用する教室として不適当と判断し、講義室1室（135.00㎡）を情報処理室に転用し、情報処理室は講義室に転用した。 ・ 校舎地下1階の学生控室兼自習室（407.5㎡）について、隣接スペースに厨房を整備し、学生食堂としても利用できるように整備した。 ・ 校舎地下1階に共同利用研究室（実験室214.03㎡）を整備した。ビューティ&ウェルネスに関する研究活動を行い、関連する施設・設備・専門知識を学内研究者および学生に提供する。また、学外の教育・研究機関からの共同研究による利用についても検討する。 ・ 入学定員234人の選抜方法別の募集人員について、開学年度である2023年度入学者選抜は、一般選抜34人、総合型選抜100人、学校推薦型選抜100人であったが、大幅な収容定員未充足という事態を受け、2024年度入学者選抜においては、一般選抜20人、総合型選抜120人、学校推薦型選抜90人に変更し、大学入試の早期化に対応した。 さらに、全国各層から広く、多角的に人材を集めるため、社会人選抜、帰国生徒選抜（募集人員若干名）を実施した。 2025年度入学者選抜においては、入学定員を194人（△40人）に変更（詳細は後述）し、一般選抜25人、総合型選抜93人、学校推薦型選抜75人、社会人選抜若干名に変更した。帰国生徒選抜は実施しなかった。 ・ 開学以来、大幅な定員未充足の状況となっていることから、収容定員充足率の適正化を目的として、入学定員及び収容定員の変更を行うため、学則変更届を提出した。令和7年度より、ビューティ&ウェルネス学科の入学定員を234人から194人（3年次編入学定員6人は変更なし）に変更し、収容定員は948人から788人（変更完成時・令和10年）に変更した。 あわせて、改正大学設置基準が適用となることから、教授会構成員を「教授・准教授」から「教授・准教授・講師・助教」に変更した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD・SD委員会を設置した。（資料1「FD・SD委員会規程」参照）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度は、委員会を3回開催し、全ての回に委員全員（6名）が出席した。

第1回：令和5年5月22日 第2回：令和5年9月12日 第3回：令和5年12月8日

令和6年度は、委員会を2回開催し、第1回は6人中6人、第2回は5人中4人の委員が出席した。

第1回：令和6年5月17日 第2回：令和6年11月13日

c 委員会の審議事項等

- ・教育の質の向上に関すること
- ・授業の内容及び方法の改善に関すること
- ・授業評価に関すること
- ・研修会及び講習会の開催に関すること
- ・学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関すること
- ・その他教育研究活動等の改善に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業方法の向上に関する研究会（予定）
- ・教員相互の授業参観（予定）
- ・全教員対象に大学の運営課題に関する研修会

b 実施方法

FD・SD委員会で決定したテーマごとに担当教員（外部教員を含む）が講習（研修）を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年1月26日 以下の内容のFD研修を実施し、27名の教員が参加した。

「高等教育の動向及び専門職大学に対する社会からの期待」をテーマに外部講師による講演

令和7年4月16日 以下の内容のFD研修を実施し、35名の教員が参加した。

「生き残りをかけた大学の取り組み」をテーマに外部講師による講演

その他、全教職員を対象としたSD活動として、以下のとおり実施した。

- ・事例で「学ぶ/考える」研究倫理-誠実な科学者の心得事例で「学ぶ/考える」研究倫理（令和5年7月）
- ・生活安全指導の講演 / マルチ商法・間バイトの危険性（令和6年5月）
- ・応急手当講習会（令和6年9月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD・SDを実施し、その効果を授業評価アンケート等で検証した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各期の授業終了後（7月・1月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生ポータルシステムを利用して公表した。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

教育課程連携協議会を設置した。(資料2「教育課程連携協議会構成員名簿」参照)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

令和6年3月26日、第1回教育課程連携協議会を開催した。

令和6年10月29日、第2回教育課程連携協議会を開催した。

(令和5・6年度は年1回開催であったが、令和7年度からは年2回開催予定。)

c 委員会の審議事項等

- ・産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ・産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

特になし

② 審議状況

a 審議した内容

- ・産業界及び地域社会との連携するために効果的な教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

教育課程連携協議会の議論された事項は、構成員である副学長から運営会議に報告され、

協議会からの提言について、今後検討していくこととした。具体的な提言内容は、以下のとおり。

<第1回教育課程連携協議会(令和6年3月26日開催)>

- ① 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項として、臨地実務実習の受入担当者の教育経験の有無や教育の質の保証の確保、実施内容の精査、実習先で万が一学生がケガをしてしまった場合の危機対応マニュアルの作成等について提言があった。
- ② 産業界及び地域社会との連携による授業の実施に関する事項及びその実施状況の評価に関する事項として、授業評価アンケートの回答率、回答結果を考慮し、担当教員へのフィードバックと今後の実施内容の見直しを図るよう提言があった。
- ③ 自己点検・評価に関する事項として、年度終了後、早めに自己点検・評価を行い、学内外に公表すべきであるとの提言があった。

<第2回教育課程連携協議会(令和6年10月29日開催)>

- ① 令和8年度新設予定のビューティサイエンス学科について、学生募集のための広報を工夫するよう提言があった。
- ② 臨地実務実習について、実習の実施内容や評価方法について再確認する必要があることから、再検討するべきであるとの提言があった。
- ③ 自己点検・評価について、本学独自の「中期目標・中期計画」の策定や「内部質保証に関する基本方針」を定め、それに基づいた自己点検・評価をすべきであるとの意見があり、早急に報告書を作成するよう提言があった。
- ④ 設置計画履行状況調査において、退学率が極めて高いことから、早急に対応策を検討するよう提言があった。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

<第1回教育課程連携協議会(令和6年3月26日開催)>

臨地実務実習における教育内容についての提言を実習担当教員に伝え、今後の実習に活かすこととした。

具体的には、運営会議構成員(学長、副学長、学生部長、附属図書館長、学部長)及び臨地実務実習を担当する教員に情報を共有し、教育課程特に臨地実務実習の内容の精査と改善が必要な事項については見直しを図るよう、学長から教職員に対して指示があり、2024年度の授業に反映させている。また、自己点検・評価については、2024年9月までに自己点検・評価のチェックリストを作成し公表することとし、年末までに自己点検・評価報告書を作成することとしている。

<第2回教育課程連携協議会(令和6年10月29日開催)>

臨地実務実習についての提言を実習担当教員に伝え、今後の実習に活かすこととした。

自己点検評価について、自己点検・評価のチェックリストを作成し公表しているが、早急に本学独自の「中期目標・中期計画」の策定や「内部質保証に関する基本方針」を定め、自己点検・評価報告書を作成するよう、自己点検・評価委員会に指示した。

開学1年目の退学率が13.42%と高かったが、全学的に退学防止策を進め、開学2年目の退学率は7.72%に改善した。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「ビューティ&ウェルネス専門職大学自己点検・評価委員会」において、自己点検・評価項目、評価基準等を策定した。点検・評価項目及び点検結果について、ホームページ上に公表している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年度中（予定）。自己点検・評価チェックリストのみ公表済。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・分野別認証評価は令和9年度、機関別認証評価は令和11年度に評価を受けるべく、評価機関を含め、学内で検討中。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。